

TOP MESSAGE

大有建設は、「信用と知恵と和をもって、安心・快適な生活環境づくりに貢献する」ことをパーパスとして、「法令を遵守し、世の中から信頼され、誰もが憧れる会社になる」「持続的な成長を目指し、知恵と工夫とチャレンジをもって未来を創造する会社になる」「世の中の人々を幸せにするために、多様性を尊重し、和をもって風通しの良い活力ある会社になる」の3つのミッションに向かって事業活動を進めています。

2023年よりSDGsを取り入れた3ヶ年の「中期経営計画 2023-2025」に沿って事業活動に取り組んでいますが、「労働者不足と高齢化」「生産性の向上」「地球環境の保全」などの重要な課題を長期的に取り組む「サステナブル経営」を推進する必要があると考え、以下の推進計画を策定して取り組みを始めました。

「健康経営推進計画」によって社員とその家族の心と体の健康推進を図って、生産性も高まることに期待しています。

「DX戦略ロードマップ」では、デジタルトランスフォーメーションを全社で取り組む体制を整え、デジタル技術の導入によって業務効率の向上の他、業務プロセスや企業文化の革新、新規事業の創出を目指していきます。

2050年までに温室効果ガス排出量ゼロを目指す「カーボンニュートラルへの取り組み」では、アスファルト合材や工事施工の低炭素化に取り組んでいくロードマップを策定して取り組んでいます。

また、国連グローバル・コンパクトが定めた人権、労働、環境、腐敗防止の4分野10原則に沿った当社のサステナブル経営の基本方針を定めて、社会的責任の実行と持続可能な社会への貢献に取り組む、企業価値の向上を目指します。

大有建設株式会社
代表取締役社長

川中喜雄

大有建設の社会的責任に関する基本方針

事業活動

パーパス、ミッション・アクションに基づき『安心・快適な生活環境づくり』に貢献していきます。

コンプライアンス

関係法令等を遵守し、透明な事業活動を行い、公正かつ公平な取引を行います。
また、違法な政治献金、公務員に対する贈賄は行わず、反社会的勢力である個人および団体とは一切の関係を持ちません。

情報発信

全てのステークホルダーに対して適時かつ適切な情報を発信し、事業活動について正確な理解を得られるように努めます。

地球環境の保全

事業活動を通じ、「循環型社会の形成」「気候変動対策(地球温暖化の防止)」「生物多様性の保全」と「汚染の予防」に取り組み、地球環境の保全に努めていきます。

人権の尊重

児童労働、強制労働の排除はもとより、全ての人の人権と労働者の基本的権利を尊重します。
また、性別・経歴・国籍・障がい・年齢等に関係なく、あらゆる差別とハラスメントを禁止し、多様性を尊重します。

労働環境の改善

健康経営やデジタルトランスフォーメーションの積極的な取り組みなどによって働き方改革を推進し、魅力ある労働環境の創出に努めていきます。

人財育成

事業活動に必要な人財の確保と育成に取り組めます。

社会貢献

事業活動や社会貢献活動などを通じ、地域社会の活性化や豊かな社会の実現に取り組めます。
また、自然災害発生時には、建設会社の社会的使命として、災害復旧に貢献します。

協力会社への対応

取引企業とは公正かつ適正な取引を行い、良好なパートナーシップの構築に努め、共に持続可能な循環型社会の実現を目指します。

リスクへの対応

想定される自然災害やパンデミックの発生、サイバー攻撃や機密情報の漏洩防止に対応するため、各事業分野における対応策(BCP)の策定と見直しを行い、定期的な訓練の実施によって実効性を高めます。
また、事業活動においてリスクアセスメントを実施し、労働安全衛生の改善を図っていきます。